

平成27年度 研究部事業報告

1 活動方針

- (1) 「生きる力を育む教育の創造」を目標として、自主性・創造性を重視し、教育専門職としての使命感に立ち、本市教育の充実と発展に努める。
 - ア 各校の教育活動を支援・助成する。
 - イ 児童生徒や地域の実態等を十分に踏まえ、「創意工夫を生かした特色ある学校づくり」「知・徳・体の調和を重視する教育の推進」「一人一人を大切にしたい教育の推進」に努める。
 - ウ 学校・家庭・地域社会との連携を深めるとともに、いじめ・不登校・児童虐待等の問題の根絶を最重要課題として「三層情報還流方式」の機能化を図る。
- (2) 愛媛県教育研究大会、八幡浜市教育研究大会(市教研)、各種指定校の研究等をととして、教育専門職としての資質・能力の向上を図るとともに、多様な研究を意欲的・積極的に推進する。
 - ア 愛媛県教育研究大会(第11期)の研究推進(3年サイクルの1年次)に当たり、自校の研究推進について計画を立てるとともに、八幡浜支部の教育体制を生かした、各校のさらなる研究の推進に努める。
 - イ 八幡浜市教育研究大会を助成するとともにブロック別研究の一層の推進に努める。
 - ウ 研究サークル(同好会)の育成に努め、多様な教育研究活動の充実を図る。
 - エ 教育研究論文の応募に対し、積極的に支援・助成する。

2 事業内容

事業内容
教科・教科外・同好会等研究助成金(基本助成と内容助成)
文科省、県、市等研究指定校助成金
研究発表校(自主発表会)助成金
自主教育研究活動(研究論文)助成金
科学の祭典八幡浜大会協賛金
雑費(振込手数料等)

- (1) 研究指定校(文部科学省・県・市等 指定)

★下線の学校への補助はしていません。

 - 文部科学省指定発達障害理解推進拠点事業[27年度] 神山小(拠点)・八代ブロック(松蔭小、川上小、八代中)、神山幼
 - 愛媛県英語コミュニケーション能力育成事業[27年度] 保内中(拠点)・川之石小・宮内小・近隣高校
 - ブロック別研究[27・28・29年度] 松柏ブロック(千丈小、松柏中)

(2) 教育研究推進

月	支部活動	市教研	県活動・愛媛県教育研究大会
4		第1回市教育研究集会(14日) 教科・教科外部長会(30日)	
5	理事会(19日)	第1回市ブロック別研究会(15日) 第1回市教研企画会(26日)	郡市教科等委員長会・ 支部研究部長会①(22日)
6	研究推進状況報告	第2回市教育研究集会[教科部会②](29日)	支部研究部長会②(11日)
7			
8	各部会等による研修	第44回八幡浜市教育研究大会 (教育講演会)(8日)	愛媛県教育研究大会(統一大会) [第11期サイクル1年次](12日) 支部研究部長会③(25日)
9			
10		第2回市教育研究集会[教科外部会Ⅰ②](27日)	
11	次年度研究主題等希望	第43回市教育研究大会[教科部会③](11日)	
12		自主教育研究発表会(松蔭小)(2日)	
1	教育研究論文提出	第2回ブロック別研究会(19日他) 自主教育研究発表会(川之石小)(22日) 市教研推進の反省と希望調査	教育研究論文締め切り(県)
2	研究のまとめ(各校)	第2回市教研企画会(12日) 第3回市教研企画会(22日) 各部会・ブロック別研究報告書提出(市教委へ)	支部研究部長会④(19日)
3	理事会・代議員会(14日)		

3 今年度の反省と来年度への志向

- ◇教科部会・教科外部会等への研究助成、科学の祭典八幡浜大会開催への助成を行うことができた。
- ◇研究指定校や自主教育研究発表校への研究助成ができた。
- ◇教育論文執筆者が5名に増え、全員に研究助成ができた。来年度もさらに増やしていきたい。
- ◇研究部として集う部会は開催しなかった。メール配信による事務連絡や情報伝達を行った。来年度は、愛教研グループウェアを活用して、さらに協力していきたい。